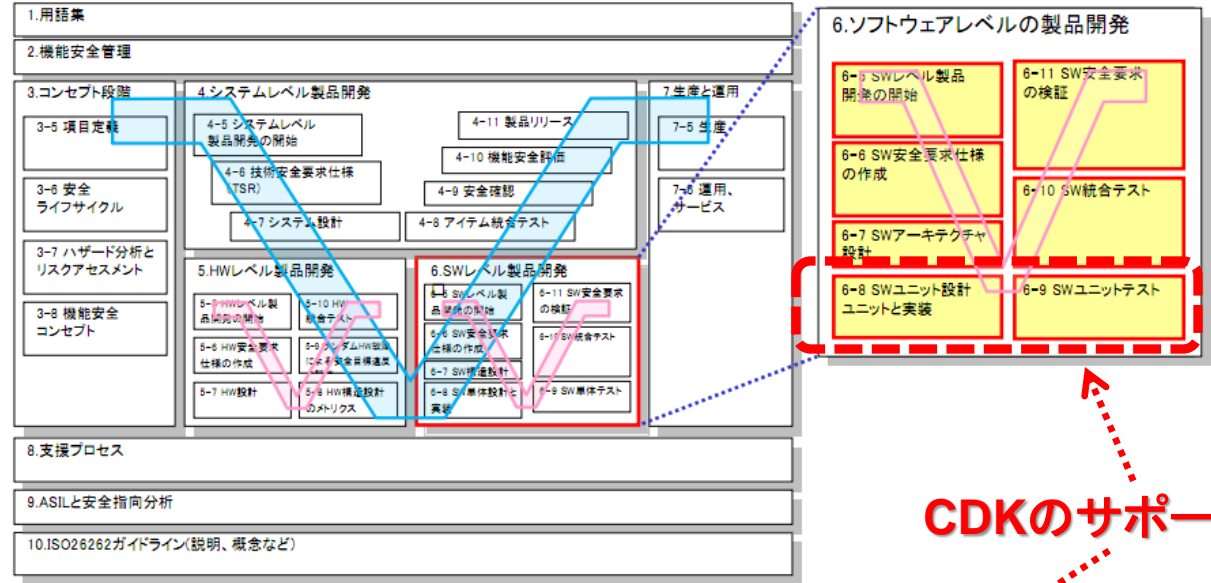




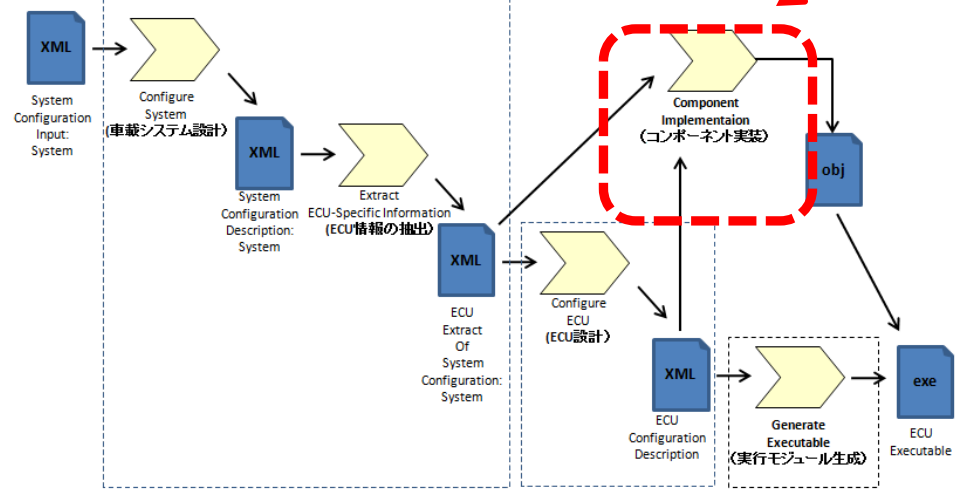
AUTOSARコンポーネントの実装／単体テスト工程を支援

■ISO26262 機能安全規格における対応スコープ



CDKのサポート範囲

■AUTOSARメソドロジにおける対応スコープ

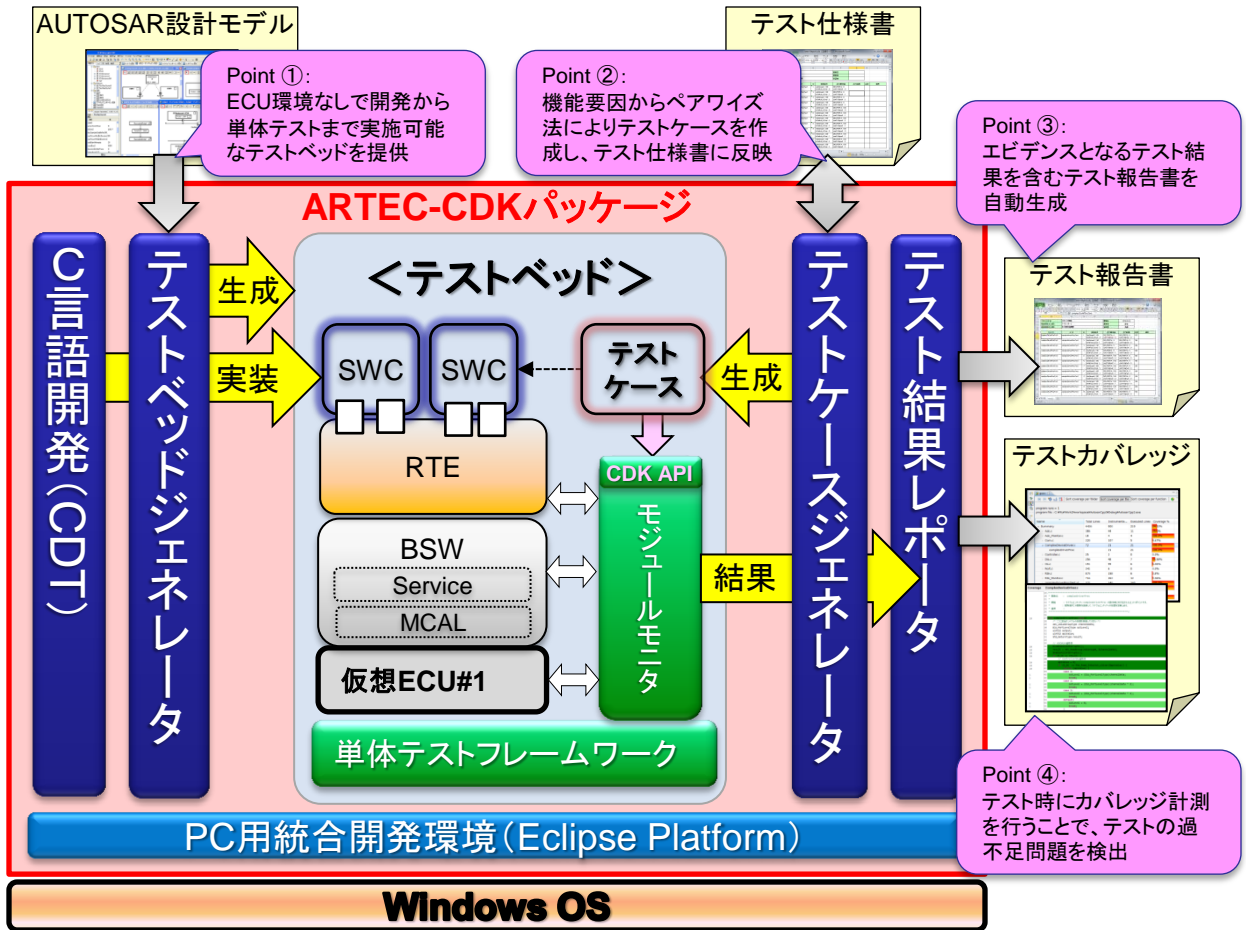


■CDKの特長

- ・ AUTOSARメソドロジのSWC 開発を1パッケージでサポート
 - ECU Extract からRTEを含むBSWを生成して、ソフトウェア部品(SWC)の実装と単体テストが可能
- ・ 実装したSWCのプログラムベース単体テスト実施を支援
 - RTE、およびBSW用の条件設定／動作確認用APIを提供。AUTOSAR 仕様に基いた単体テストケースの定義と、コストをかけない回帰テストが可能
- ・ コストをかけずにAUTOSAR SWC開発環境を整備可能
 - AUTOSAR標準規格に準拠した設計データ(ECU Extract)を利用可能
 - 安価(298,000／本)であるため、開発チームの規模に応じて適用することでターゲットマイコンや、高価な開発用ソフトウェアの導入数を低減可能



ARTEC-CDKパッケージ提供機能



特徴1: AUTOSARフルスタックのECU環境を自動構築

- ・ECUコンフィグレーションなしで、AUTOSARフルスタックの仮想環境(テストベッド)を自動生成
- ・テストベッドを利用して、ECUに配置するソフトウェア部品(SWC)の開発/単体テストが可能

特徴2: 単体テスト工程を効率化し、部品とテストケースを資産化

- ・仕様書からテストケースのひな形を自動生成することでテストのモレ/ヌケを防止
- ・生成したテストケースは何度でも自動実行可能。コードカバレッジ計測も自動実施
- ・エビデンスとなるテスト結果を含むテスト報告書を自動生成することで、テスト工数を削減

ARTEC-CDK適用例

AUTOSARソフトウェアコンポーネント(SWC)の実機レス開発環境

AUTOSAR設計モデルが決定した段階から、BSWやハードを用意することなく、SWCの開発・単体テストを進めることができます

BSW層のコンポーネント向けのテスト駆動開発環境

BSWコンポーネントや、HALコンポーネントの開発およびテストを、他BSWコンポーネントをモックとした環境で実施することができます